２０２５年12月15日

神戸市少年団登山教室山行（２０２５年１２月１３日）報告

１．参加者

教室生　１９名

引率者　岳連理事５名

教員ボランティア１名

大学生ボランティア２名

２．記録

天気　張れ

9:10　JR 新神戸駅１階バス停前　発

出席確認で出発に時間がかかった。

新神戸駅構内なので駅の北側にある広場に移動する。

9:15　新神戸駅北側広場　着

ここで諸注意と準備体操をする。

9:24　新神戸駅北側広場　発

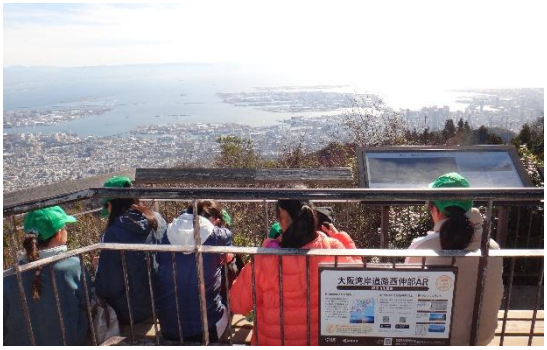
9:37　みはらし展望台　着

少しだけ休憩して衣服の調整を指示。

9:42　布引雄滝 通過

市ケ原の桜茶屋でトイレ休憩の後、１９６７年７月の豪雨災害の市ケ原の災害の説明をした。

木々の間を通って稲妻坂に出て天狗道を登る。



11:45　天狗道を少し逸れてマザーツリーの杉を見学

また登山道に戻って登る。

12:18　摩耶山掬星台 着

昼食休憩

12:52　摩耶山掬星台 発

13:00　摩耶山三角点 着

山頂にある天狗岩を見学

旧天上寺の大きな木々の間を通って摩耶史跡公園に着く。

ここで、摩耶の大杉を見学。

登山道を下る。

摩耶花壇跡で保存会の方？の好意で廃墟を見学させてもらう。

14:03　摩耶ケーブル 虹駅 着

ロープウエイ虹の駅で昔の摩耶山の観光施設の写真を見学。

ケーブル虹の駅で摩耶観光ホテル（マヤカン）を上から見る。

上野道を下るが、落ち葉が多く積もって滑りやすいことを注意する。

五鬼城展望公園で１０分間休憩

14:44　上野道登山口　着
15:10　原田公園前広場（阪急王子公園駅すぐ北）　着
　　解散

３．準備物

名札・地図・コンパス（貸出し用５個）

４．活動内容と感想

この日の朝は少し寒かったが日中は日が差し風もなく最高の登山日和だった。JR 新神戸駅での出席確認の時間がかかり少し遅れて出発した。新神戸駅のすぐ北側にある広場で今回の登山の注意と準備体操をした。今回も寒い日があったせいか欠席者１７名と多く、参加者は教室生が１９名、引率者が大学生を含めて８名、合計２７名で９時２４分に登山を開始した。所々で残っている赤や黄色に色づいた葉に日が当たり光って輝いていた。布引雄滝の横を通って布引貯水池を過ぎ市ケ原の到着。ここは１９６７年（昭和４２年）７月の豪雨のために山津波が発生して集落が流される災害が発生した所でもある。その災害の様子を説明した。その後、ハーブ園へと繋がる急な山道を登って高圧鉄塔下に到着。ここで地図を広げて読図をした。コンパスの磁針を地図の磁北線と合わせる。次に目印をなるもの探して周囲を見渡す。ハーブ園の建物や３本鉄塔（実際には４本）や送電線の張っている方向などを見てそれらが地図上でどう表さているかを確認した。また等高線の間隔と山の斜面の傾斜の具合を比較した。読図を終えて歩き出す。稲妻坂を過ぎ天狗道を登る。とこどころの岩を登るときは３点支持を注意した。天狗道を登って行って右に道を外れて大杉を見学する。この杉は六甲山のマザーツリーの１本で幹回りは４．８ｍもあるそうだ。みんなで大杉を見上げる。大きく横に太い枝を張り出している巨木だった。また元の天狗道に戻り暫く歩いて掬星台に到着。ここで昼食休憩をとる。子ども達は神戸港やポートアイランドが真下に見える展望デッキで昼食をとった。風もなく寒くもないので素晴らしい昼食タイムとなった。昼食後、摩耶山の頂上にある天狗岩をみて奥の院を下り摩耶史跡公園で摩耶の大杉を見学。その下にある摩耶花壇では保存会の方？の許しで摩耶花壇跡の地階を見せてもらう。また昭和初期の写真に写っていた摩耶花壇前の小さなヒマラヤ杉が１０ｍを越える２本の巨木が目の前に聳えていた。その後、摩耶ロープウエイ、ケーブルの虹の駅で昔の摩耶山の遊園地などの写真や摩耶観光ホテル（マヤカン）をみんなでみた。見学の後は上野道を下山。落ち葉が多く滑りやすいことを注意しながら下る。目の前に拡がる神戸の街を見下ろしながら上野道を下った。天気も良く風もない中をみんな元気に下って原田児童館前広場に到着し解散した。

今回の山行では、子ども達のペースが揃っていてパーティーの隊列がそれほど長く伸びなかったのは良かった。急な上り坂もあったがよく頑張ったと思う。

文責　大西